

基本情報						
教科・科目		高2物理		・授業で使用するもの		
担当者		安藤 昌教、杉森 正弘		教科書、問題集		
評価割合（試験：試験外）		試験 :6 試験外 : 4				
年間を通じて教科で培う力		鍛錬（知識及び技能）		多方面から考察することができる。興味を持って取り組むことができる。		
		理知（思考力・判断力・表現力等）		情報を精査して問題解決に取り組むことができる。思考を言語化して他者に伝えることができる。		
		探求・叡智（主体的に学習に取り組む態度）		身につけた知識を活用することができる。課題を見つけて主体的に探求することができる。		
学習情報						
月	回	単元（学習）目標	単元目的（到達状態）	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4		現象・概念の理解 公式の導出・理解 問題演習	現象を理解し、力の分類、つり合いの式の導出、運動方程式を立てることができる。	力学基礎、運動量、力積	講義 実験 グループワーク レポート・小テスト	小テスト レポート 授業への参加
5		現象・概念の理解 公式の導出・理解 問題演習	力学的エネルギー保存の法則を理解することができる。加速度運動について現象を理解し、立式することができる。	運動量保存則、円運動 慣性力、遠心力	講義 実験 グループワーク レポート・小テスト	小テスト レポート 授業への参加
6		現象・概念の理解 公式の導出・理解 問題演習	万有引力、ケプラーの法則を理解することができる。	万有引力、ケプラーの法則	講義 実験 グループワーク レポート・小テスト	小テスト レポート 授業への参加
定期試験① 令和7年 6月2日－6月4日 範囲)						
7		現象・概念の理解 公式の導出・理解 問題演習	気体の状態を理解し、温度、圧力、体積の変化を導出することができる。	気体、状態方程式 ボイルシャルルの法則 定積変化、定圧変化、断熱変化	講義 実験 グループワーク レポート・小テスト	小テスト レポート 授業への参加
定期試験② 令和7年 7月9日－7月11日 範囲)						
9		現象・概念の理解 公式の導出・理解 問題演習	力学、熱力学分野について理解し、問題解決につなげることができる。	演習課題	課題 レポート	課題 レポート
10		現象・概念の理解 公式の導出・理解 問題演習	単振動の成立条件について理解し、立式することができる。	気体分子運動論 単振動	講義 実験 グループワーク レポート・小テスト	小テスト レポート 授業への参加
定期試験③ 令和7年 10月20日－10月22日 範囲)						
11		現象・概念の理解 公式の導出・理解 問題演習	波の特性を理解し、現象を公式と紐づけて考えることができる。	波の干渉、ドップラー効果、共鳴	講義 実験 グループワーク レポート・小テスト	小テスト レポート 授業への参加
12		現象・概念の理解 公式の導出・理解 問題演習	光の特性を理解し、問題解決につなげることができる。	光の特性 レンズ、回折、干渉	講義 実験 グループワーク レポート・小テスト	小テスト レポート 授業への参加
定期試験④ 令和7年 12月10日－12月10日 範囲)						
1		現象・概念の理解 公式の導出・理解 問題演習	電磁気学の基礎について理解することができる。	電磁気学基礎、電場、電位	講義 実験 グループワーク レポート・小テスト	小テスト レポート 授業への参加
2		現象・概念の理解 公式の導出・理解 問題演習	直流回路において、抵抗、コンデンサー等が担う役割について理解することができる。	電流、直流、コンデンサー	講義 実験 グループワーク レポート・小テスト	小テスト レポート 授業への参加
定期試験⑤ 令和8年 3月4日－3月6日 範囲)						